

レファレンス だより

2014年5月号
No. 138

福岡市総合図書館
図書サービス課 相談係
☎092-852-0632



図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンス・サービス」を提供しています。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報紙です。(法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。)

■レファレンス受付件数 (2014年2月分)

参考	人文	社会	自然	郷土
67	1915	404	329	482
国際	国連	こども	ホピュラー	合計
455	85	871	1291	5899

(開館日 23日 一日平均 256件)

※「2階C1」などと表記しているものは総合図書館の棚番号です。また、「813.1」などと表記しているものは分類番号で、数字の左にRが付いている資料、郷土資料は貸出ができませんので、館内でご利用ください。本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月のレファレンス徹底解説!

Q:「筑前守^{ちくぜんのかみ}」などの「〇〇守^{かみ}」という官職は、どのように決められたのか。筑前国を治めた者が筑前守と名乗ったわけではないようだ。



■まず辞典を調べる

『国史大辞典 6 こま-しと』(吉川弘文館 1985年) 2階C10 R210.03/3

「しとうかん(四等官)」の項目に、神祇官・省・職・寮・国などの官職を長官・次官・判官・主典の四等級に分ける官制について書かれている。そのうち神祇官では伯・副・祐・史、国では守・介・掾・目のように異なった文字を用いて、すべて「かみ」「すけ」「じょう」「さかん」と読むことがわかる。

■国立国会図書館レファレンス協同データベースを検索する

[<http://crd.ndl.go.jp/reference/>]

今回の質問と類似の『大岡越前守忠相の官職名「越前守」などにみられる「〇〇守」という名称はどのようにつけられたのか?』という事例が登録されている。以下は、そこに参考資料として挙がっている資料の一部。

レファレンス協同データベースとは?

→国立国会図書館と全国の図書館が、皆さんの調べものの手がかりとしてもらうため、寄せられた質問と回答の事例を公開するデータベースです。

『日本史に出てくる官職と位階のことがわかる本』(新人物往来社 2009年) 1階ポ67 322.1/ニ

奈良・平安の律令制の時代、国司の最高責任者である守になった者を受領といい、任国が駿河国であれば駿河守という受領名になった。鎌倉時代になり、受領が実質的な力を失うと、受領名は名目だけとなり、武士たちは名乗った受領名の国名とは無縁な場合がほとんどだった。

本人の希望により朝廷や主君から許可を受ける形だったが、すでに同姓の者がその受領名を用いているときには区別がつかなくなるので許可されなかったほか、過去に使った武将によって不名誉なイメージがつき敬遠された受領名もあったという。

『名前とは何か なぜ羽柴筑前守は筑前と関係がないのか』(小谷野 敦/著 青土社 2011年)

1階ポ69 288.1/3



その他にもこんな質問がありました

Q：イルカは眠るとき目を閉じるのか。

■児童書

『動物のふしぎ ポプラディア情報館』（今泉 忠明／監修 ポプラ社 2008年）1階子供参考 R480/ト
バンドウイルカは眠っているとき、脳の右側と左側を交互に休ませて、半分ずつ眠っていることがわかっています。この切りかえの間隔は短く、長くて10分くらいようです。右側の脳が休んでいるときは左目を、左側の脳が休んでいるときは右目を閉じ、閉じた目が円の内側になるように泳ぎながら眠っています、とある。



■一般書

『海に還った哺乳類イルカのふしぎ』（村山 司／著 講談社 2013年）1階ポ65 489.6/4
睡眠中の脳波とイルカの眼の周囲の動きを調べた研究によれば、右脳が寝ているときは左の眼を、左脳が眠っているときには右の眼を、それぞれ閉じていることがわかりました、とある。

Q：「紫雲」とはどういう現象か。言い伝えなどもあれば知りたい。

■事典

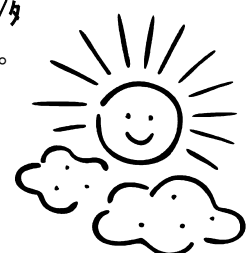
『日本国語大辞典 第6巻 第2版 さこう-しゅんひ』（小学館 2001年）2階C1 R813.1/-
“紫雲”はむらさきの雲で「めでたいしるし」で「念仏行者の臨終などにあたって、阿弥陀仏がこの雲に乗って来迎するという」と書かれている。神仙・道教思想が起源で、「徳の高い天子・君子が在位する時に現れる」とも。また仏教において紫雲は、「念仏行者の臨終が正しく浄土往生であることを証明するものとされた」とある。

『日本民俗大辞典 下 た〜わ・索引』（福田 アジオ/[ほか]編 吉川弘文館 2000年）
2階D7 R380.33/-
「虹」の項目に説明あり。虹に良く似た現象で、「雲の一部が美しく色づくこと」があり、これを“彩雲”（さいうん）という。昔は吉兆とされ、「景雲・慶雲・紫雲・瑞雲と呼ばれ、慶雲あるいは神護景雲のように年号まで変えたことがあった」とある。

“彩雲”の呼び名の一つが“紫雲”と分かったので、ここから“彩雲”を調査！

■一般書

『お天気なんでも小事典』（三浦 郁夫・川崎 宣昭／著 技術評論社 2005年）1階ポ65 451/ミ
“彩雲”は、太陽光が雲の粒などの障害物の後ろに回り込む「回折（かいせつ）」という性質によって、雲が色づいて見える現象のこと。わかりやすい図がある。
『空を見る』（平沼 洋司／文 武田 康男／写真 筑摩書房 2001年）閉架書庫
「彩雲」が吉兆のしるしであることや、紫雲を含むいろんな呼び方がされること、雲が色づいて見える要因となる「回折（かいせつ）現象」について解説している。カラー写真がある。
『楽しい気象観察図鑑』（武田 康男／文・写真 草思社 2005年）1階ポ65 451/ヲ
彩雲が良く見られるのは巻積雲で、太陽の近くにあると特に美しい色が付くとある。



Q：頭髪の校則と子どもの人権についての資料や判例を見たい。

■一般書

『校則と子どもの権利』（栃木県弁護士会人権公害委員会／編 栃木県弁護士会 1996年）閉架書庫
校則に関する調査・研究をまとめ、校則を子どもの人権という視点から分析している。頭髪の校則に関する参考判例あり。

『学校教育裁判と教育法』（市川 須美子／著 三省堂 2007年）2階D17 373.2/4

「校則と子どもの人権」の章に「長髪禁止規定と子どもの人権」という項があり、「丸刈り校則裁判」を詳しく考察している。判決批判を通じて、今後の人権保障の道筋が明らかにされるべきであると書かれている。

■雑誌

『法学教室 1988年9月号 No. 96 “校則と生徒の人権”』閉架書庫

『法学セミナー1992年1月号 No. 445 “校則をめぐる司法判断と生徒の人権”』2階D4

『別冊ジュリスト1992年7月号 No. 118 “丸刈り校則裁判”』2階D4

これらの雑誌に、校則と人権について解説あり。

■データベース（D1-Law 第一法規法情報総合データベース）

『丸刈り校則裁判』（熊本地裁昭和58年（行ウ）第3号／（行ウ）第4号）

【要旨】の1に、町立中学校長が制定した男子生徒の髪型を「丸刈、長髪禁止」と定める校則は、憲法14条・21条・31条に違反しないとある。

Q：最近のニュースで「国連憲章第〇章（第〇条）に基づき…」と言われるのをよく耳にする。
国連憲章が載っている図書、また解説書のようなものがあれば教えてほしい。

国際連合憲章（国連憲章）＝The Charter of the United Nations

■所蔵資料

『国際連合の基礎知識』（国際連合広報局／著 八森 充／訳 関西学院大学総合政策学部 2009年）

2階国連A2 F001.00/08-06

英語・日本語対訳で全文を見ることかできる。

『コマンテール国際連合憲章 上 国際連合憲章逐条解説』

『コマンテール国際連合憲章 下 国際連合憲章逐条解説』

（アラン・プレ、ジャン＝ピエール・コット／共編 中原 喜一郎・斎藤 恵彦／監訳

東京書籍 1993年） 2階国連A1 R329.33/コ

フランス語版改訂第2版の日本語版。国連憲章の条文ごとの解釈を提示。1988年（条項によっては1989年初頭）までの世界の動きに対して憲章がどのような意味を持ち、どのように適用されてきたかを17か国80数名の専門家が解説。

『The charter of the United Nations. v. 1 A commentary.』

『The charter of the United Nations. v. 2 A commentary.』

（Bruno Simma／編 Oxford University Press 2002年）2階国連A1 F099.00/'02/1,2

国連憲章の条文の背景、歴史、注釈（英語）。

■インターネット

国連広報センター>基本情報>国際連合憲章【<http://www.unic.or.jp/info/un/charter/>】（日本語）

英文については「関連リンク」をクリックし、国連本部ホームページにて全文閲覧可能。

※ 棚番号は総合図書館のもので、本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月の一冊！

『四季の花色図鑑』（講談社 1998年）2階 E4 R627.03/シ

この図鑑は花の色から調べられる図鑑です。花壇や植え込みに色とりどりの花が咲いているのを目にする季節ですが、何という花だろうか、そう思った時に重宝します。

全体が「春、夏、秋、冬」と四つの季節に分かれていて、それぞれの季節の中で「桃色、青色紫色、赤色、橙色、黄色、白色」と分類されています。春の桃色のページを開けると、この季節に咲くピンク色の花の写真がずらり並んでいます。この中から調べたい花の写真を探せばいいわけです。

巻末に索引があるので、花の名前がわかっていたらそこから調べることもできます。



使ってみました！⇒鉢植えの花を調べる！

プレゼントでもらった鉢植えの花の名を知りたいというお尋ねがありました。色は赤とピンクの間くらい。花びらが何枚も何枚も重なっていて丸みのある花だそうです。とりあえず「春・桃色」のページを見ていただくと、これではないか、という花が見つかりました。「ラナンキュラス（またはハナキンポウゲ）」。色は、桃色以外に赤、橙、黄、白もあるようです。華やかで美しい花です。



図書館活用術 ～「Fukuoka City Wi-Fi」について～

福岡市総合図書館では、この4月から、福岡市無料公衆LANサービス「Fukuoka City Wi-Fi」が利用できるようになりました。閲覧席で調べものをしていてネットで確認したいことが出てきた時などに、ご自身のタブレット端末等でインターネットにアクセスすることができます。（パソコンの利用は従来通りパソコンルームをご利用ください）

「Fukuoka City Wi-Fi」は福岡市が提供している、誰でも無料で使える公衆無線LANサービスです。地下鉄や福岡市関連施設ほか70ヶ所余りに拠点があり、この春から総合図書館も拠点の一つに加わりました。



図書返却ポストが増えました

図書館以外の場所で本を返すことができる返却ポストが一つ増えました。地下鉄七隈線橋本駅前の大型商業施設「木の葉モール橋本」1階に図書返却ポストが設置されました。お近くにお住まいの方、買い物で立ち寄られる方、どうぞご利用ください。

